

サニナビ

北九州



北九州市保健所
食品監視検査課
広域指導係
小倉北区西港町 94-9
TEL 093-583-2048
FAX 093-583-2044

特集：異物混入について(第2回)

●異物混入に対して高いハードルを設定
原材料の外側に付いて工場・調理場に異物が入ってこない工夫が必要です。

配送車の荷台の床、天井、壁の材質は何でできていますか、原材料の他に何か積んでいませんか、他の材料が破れて異物になる物が荷台に落ちていませんか。

●次工程に異物を侵入させない
例えば、豚肉や鶏肉など骨を正確にはずしたつもりでも、小さな骨が残っている可能性がありま。そのため、この段階でエックス線検出機を使って選別する必要があるあります。

●伝票にも注意が必要
多くの工場では、原材料と一緒にいくる伝票の管理も重要です。伝票を閉じるのにホチキスを使用しています。

●金属、石など異物はたくさんある
異物混入で問題の多い順番に並べると、ガラス、金属類、石、プラスチック類、生き物(虫、髪の毛など)、生物に関する物の順です。ガラスなどが食べ物に混入すると、それを食べた人は口や食道、胃などを傷つけてしまいます。

例えば、蛍光灯が割れても落ちてこないように、作業場の蛍光灯はカバーがついた物にする必要があります。もし破損した場合は、破損した破片をジグソーパズルのように集めて、すべてがそろうまでは、その近くにあった原材料や中間品は使用してはだめです。

●部品庫は鍵を掛けることが重要
工場内の部品庫は、たぐさんのビス、ナット類や工具などを保管しています。専任されたスタッフのみが入室・退室することとし、部品類、工具類の管理はマニュアルを作成し定期的な確認が必要です。また、部品庫に関係ない人が入室しないように鍵を掛けることが大切です。

食の安全たんけん隊出動

8月19日(金)、小学校5・6年生とその保護者23名と当課の職員がいつしよに、「食の安全たんけん隊」として出動しました。

これは、食品工場を見学したり、食品の検査を実際に体験したりすることで、食の安全がどのように守られているかを参加者のみなさんに知ってもらい、情報交換を行なう場として開催しています。

今年、午前中に、からあげなどを製造している「株唐十」を探検し、安全な食品を作るために、どのような衛生管理を行なっているかを、教えていただきました。猛暑のなか、みなさん熱心に見学されていました。

また、午後からは、身の周りのものに、菌がどれくらいいるかを調べたり、食品にどんな着色料が入っているかを調べたりしました。



食品安全情報

腸管出血性大腸菌にご注意ください!

岐阜県は8月17日、高山市の60代の男性が腸管出血性大腸菌O157に感染し、16日に死亡したと発表しました。

県によると、男性は5日に下痢や腹痛を訴え、7日に市内の病院に入院しました。腎臓疾患をおこす溶血性尿毒症候群(HUS)を発症し死亡しました。男性の便を10日に検査したところ、O157が検出されました。同居家族や院内での感染は確認されおらず、県は感染経路を調査中です。

また、佐賀県は、8月12日、武雄市の2つの保育所でO157による集団感染が判明したと発表しました。さらに、大阪府は、8月22日、高石市の保育施設でO145による集団感染が判明したと発表しました。

O157を代表とする「腸管出血性大腸菌感染症」は、初夏から初秋に、多く発生します。

【腸管出血性大腸菌とは】

腸管出血性大腸菌には、たぐさんの型があり、代表的なものは「O157」で、そのほかに「O26」や「O111」などが知られています。腸管出血性大腸菌の感染では、全く症状がないものから、重篤な合併症を起こし、時には死亡に至るものまで様々です。

おおむね3〜8日の潜伏期をおいて、頻回の水様便で発病します。さらに、激しい腹痛を伴い、まもなく血便となることがあります。また、溶血性尿毒症候群(HUS)や脳症などの、重症な合併症を発症することがあります。

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症予防法の三類感染症に位置づけられており、飲食物に直接触れる業務等への就業制限があります。

なお、就業制限は、検便で、ベロ毒素産生菌が陰性であること(病原体を保有していないこと)が確認されれば解除されます。

●イスラム教徒の男性に豚肉のハム提供!

東京入国管理局横浜支局が、8月3日、同支局に收容されている、パキスタン国籍でイスラム教徒の48歳の男性に夕食の際、豚肉のハムが入った煮物を提供した。

イスラム教では、豚肉は宗教上タブーであり、男性は抗議のため2週間、水と栄養補助剤以外は口にできなかったそうです。東京にある外国人の人権を守る支援団体が、入国管理局を訪れ、宗教上に配慮した食事を提供することは当然の責任であり、再発防止を申し入れました。

編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、熱中症にはご注意ください。今月は「タマネギ」です